

国立大学法人宮崎大学医学部医学科 感染症学講座免疫学分野 教員公募

- 1 募集人員 助教1名
- 2 応募資格 免疫学分野に業績がある者（免疫学的解析手法に精通し、且つ遺伝子工学的解析手法の経験もあることが望ましい）
学部教育と研究に強い熱意と意欲を持つ者
大学院生の研究指導ができる者
博士の学位を有する者
- 3 担当業務 免疫学分野の教育，研究を担当
- 4 応募締切日 令和 4年 5月 13日（金）（必着）
- 5 提出書類
 - (1) 履歴書 別紙様式1
 - (2) 業績目録（一般講演を除く） 別紙様式2
 - (3) 主要論文（著書は除く）のうち、主なもの2編以内（別刷各1部、コピー可）
 - (4) これまでの研究成果と今後の抱負、アピールポイント（得意なこと）をまとめたもの（A4用紙で2枚以内） 様式任意
 - (5) 照会可能な推薦者1名以上の氏名と連絡先（勤務先住所、電話及びメールアドレスと職位） 別紙様式3※本学様式を
<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/wp-content/uploads/2021/10/yoshiki.docx>
からダウンロードのうえ作成すること。
- 6 書類提出先
〒889-1692
宮崎県宮崎市清武町木原5200
宮崎大学医学部医学科感染症学講座免疫学分野
※郵送の場合は書留とし、封筒の表に「**感染症学講座免疫学分野助教応募書類在中**」と朱書してください。
- 7 選考方法
応募書類による審査を行い、書類選考通過者にオンラインの面接、講演をしていただきます。面接、講演を実施する場合は、日程などにつき追って通知します。また、採否の決定の有無にかかわらず結果は本人宛に通知させていただきます。
- 8 待遇等
 - (1) 着任日：令和 4年 7月 1日以降（選考状況により変更あり）
 - (2) 任期：5年間 ※再任審査の結果に基づき大学が必要と認める教員については、雇用期間の定めのない教員として更新することが可能です。
 - (3) 給与：本学業績連動給与制教員給与規程に基づき支給
 - (4) 勤務形態：専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）
 - (5) 休日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始
 - (6) 休暇：年次有給休暇、その他特別休暇（結婚、忌引、リフレッシュ、夏季、病気、産前、産後）、育児休業（無給）等
 - (7) 保険等：共済保険・厚生年金等・雇用保険・労災保険に加入
- 9 問い合わせ先
宮崎大学医学部医学科感染症学講座免疫学分野
教授 佐藤克明
TEL:0985(85)9815
e-mail: katsuaki_sato @ med.miyazaki-u.ac.jp
*メール送信時、@前後のスペースを除いて下さい。
HP: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/meneki/>
- 10 その他
 - 1) 本学医学部では、助教も任期制（5年間）を導入しておりますが、再任審査の結果に基づき大学が必要と認める教員については、雇用期間の定めのない教員として更新することが可能です。
 - 2) 応募書類は採用審査の用途に限り使用され、選考終了後に適切に管理・処分し、返却いたしません。
 - 3) 宮崎大学での男女共同参画推進事業の実施を踏まえ、選考過程で同等の能力とみなされた場合は、女性を優先して採用します。
 - 4) 国家公務員・地方公務員等から引き続き本学に採用されることとなった場合でも、退職手当は原則として通算されません。
 - 5) 本学医学部では、教員の勤務時間は原則として裁量労働制を適用することとなっております。

～研究室の紹介～

宮崎大学医学部感染症学講座免疫学分野では、この度、助教を公募することになりました。

当講座は、生体防御機構と免疫学的恒常維持機構を明らかにすることを目的として、健常および免疫病態における免疫細胞の機能とこれを制御する分子作用機序について研究を行っています。特に、“樹状細胞”を研究対象として微生物感染やがんに対する生体防御機構とともに自己免疫疾患やアレルギー、移植片拒絶反応などの免疫疾患の発症・増悪機構の解明に取り組んでいます。さらに、これらの成果に基づいて、微生物感染やがんに対する新規ワクチン、免疫疾患に対する疾患特異的治療法の開発へ繋がる応用研究を推進しております。研究手法として、免疫学的解析（免疫細胞機能解析、*in vivo* 実験モデルなど）、タンパク質工学的解析（抗体、変異体タンパク質の作製など）、遺伝子工学的解析（遺伝子発現ベクター、遺伝子改変マウスの作製など）を用いております。また、臨床系講座との共同研究によりヒト臨床検体を用いた免疫細胞の性状解析も行っております。講座内研究設備については、FACSVerse フローサイトメーター、AutoMACS 磁気細胞分離装置、オールインワン蛍光顕微鏡、サーマルサイクラー、リアルタイムPCR 測定装置、安全キャビネット、クリーンベンチ、細胞培養装置などが設置され、無菌マウス用アイソレーターが設置された動物飼育室がございます。また、部局内では実験動物施設や RI 研究施設が設置され、共通研究支援施設の FACS Aria 細胞分離装置、共焦点レーザー顕微鏡などが利用可能であり、研究活動を行い易い環境が整っております。

研究活動については、下記の講座ホームページをご参照下さい。また講座開設（2013年）以降の主な研究業績と競争的研究資金は以下の通りです。

研究業績

Nat. Commun. ・2016、Sci. Rep. ・2016、Nat. Commun. ・2017、Mucosal Immunol. ・2017、J. Allergy Clin. Immunol. ・2018、Frontiers. Immunol. ・2018、Int. Immunol. ・2019、J. Clin. Invest. ・2019、Sci. Rep. ・2020、Commun. Biol. ・2020、Int. Immunol. ・2020、Frontiers. Immunol. ・2021

競争的研究資金

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）平成28年度次世代がん医療創生研究事業、科学技術振興機構（JST）戦略的創造研究推進事業（さきがけ）、科研費基盤研究（B）、科研費基盤研究（C）、科研費若手研究（B）、科研費挑戦的萌芽研究、民間研究助成、学内研究推進

教育については医学部医学科では免疫学・生体防御学、同看護学科では臨床病態学（免疫分野）を担当しております。

ご興味をお持ち頂きましたら、研究・教育活動などに関するご連絡を頂ければと存じます。

免疫学研究に興味をもち、学部教育と研究に強い熱意と意欲を持つ方の応募をお待ちしております。

宮崎大学医学部医学科感染症学講座免疫学分野

教授 佐藤克明

電話：0985-85-9815、FAX：0985-85-9899

e-mail: katsuaki_sato @ med.miyazaki-u.ac.jp

*メール送信時、@前後のスペースを除いて下さい。

HP: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/meneki/>